



# 図書館だより

## 6月号

雨の日が多い6月、登下校もカッパを着てたいへんで、気分も少し減入りますよね。けれども、雨は嫌なことばかりではありません。この時期の雨は大地を潤し、植物の生育を促す意味でも大切なものです。ゆっくりと雨音を聞きながら読書するのもいいかもしれませんね。



なるかみ 雷神の とよ しまし響もし さし曇り 雨も降らぬか 君を留めむ

(雷が少し鳴って 突然曇る 雨でも降ってくれないだろうか あなたをここに留めたい)

なるかみ 雷神の とよ しまし響もし 振らずとも 我は留まらむ いも 妹し留めば

(雷が少し鳴って 雨が降らなくても 私はここに留まるよ あなたが留めるのなら)

『小説 言の葉の庭』(新海誠:著) には、万葉集の和歌がいくつか登場します。上の二首も万葉集の相聞歌です。雨の日に出会った2人の物語、映画でも雨のシーンが印象的ですよね。この本は監督の新海誠自身が小説として著したのですが、やはり雨の描写が美しいです。雨の季節にぴったりの一冊、図書室の「ていれぎ文庫」にありますので、この時期にぜひ読んでみて下さい。

### 第68回青少年読書感想文全国コンクール

### 課題図書

『クジラの骨と僕らの未来』  
中村玄 (理論社)

『建築家になりたい君へ』  
隈研吾 (河出書房新社)

『その扉をたたく音』  
瀬尾まいこ (集英社)

## 読書冊数調査報告

今年度は「生徒1人あたり年間10冊以上」を目標にしています。5月末に行った読書冊数調査の結果は次の通りです。

1年生 1,030冊(1人あたり **2.9** 冊)  
2年生 630冊(1人あたり **1.8** 冊)  
3年生 552冊(1人あたり **1.6** 冊)

**1年生頑張っています!**  
1年生はよく図書館も利用してくれています!



7月にまた調査をするので、読んだ本は記録しておいてくださいね。

## 新刊紹介

『同志少女よ、敵を撃て』『物語ウクライナの歴史』『ヒトの壁』『ミシンと金魚』など話題作がたくさん入りました。

### 『はじめての』 島本理生・辻村深月・宮部みゆき・森絵都

4人の人気女性作家がYOASOBIとコラボして作った作品です。「はじめての」をテーマに生まれた4つの物語。それぞれの世界を味わいましょう。

### 『科学のミカタ』 元村有希子

科学が苦手な人、文系の人でもわかりやすい科学エッセイ。目次が古文調なものもおもしろいです。

### 『さばの缶づめ、宇宙へ行く』 小坂康之 林公代

12年をかけ、先輩から後輩に引き継がれていく夢。壮大な宇宙が自分たちの生活と繋がっていく。実話です。

### 図書委員会から

6月から図書の貸出・返却担当が3年生から2年生に交代しました。図書館前のホワイトボードも2年生が担当しています。毎日頑張っているんで、前を通った時には、ぜひ、みてください!

